



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 マースエンジニアリング

コード番号 6419 URL <http://www.mars-eng.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 松波 明宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長

(氏名) 佐藤 敏昭

TEL 03-3352-8555

四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日

配当支払開始予定日

平成28年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	11,732	△7.1	1,943	△17.8	2,118	△19.7	1,418	△20.6
28年3月期第2四半期	12,634	△4.3	2,363	1.3	2,636	5.0	1,787	16.3

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 1,124百万円 (45.9%) 28年3月期第2四半期 771百万円 (△44.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	84.94	—
28年3月期第2四半期	102.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	57,070	48,366	84.7	2,896.17
28年3月期	57,852	47,755	82.5	2,858.44

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 48,366百万円 28年3月期 47,755百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
29年3月期	—	35.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,200	△0.9	4,200	△5.2	4,500	△6.4	2,900	△3.2	173.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	22,720,000 株	28年3月期	22,720,000 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	6,019,812 株	28年3月期	6,013,112 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	16,700,585 株	28年3月期2Q	17,438,229 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府及び日本銀行による各種政策を下支えに力強さを欠きつつも企業の設備投資や雇用環境の改善等、緩やかな回復基調で推移しました。その一方で新興国経済の減速や英国のEU離脱問題等の海外情勢による為替や株式市場への影響等、景気下振れに対する警戒感は根強く、先行き不透明な状況が続きました。

当社グループの主要販売先であるパチンコ業界におきましては、「検定機と性能が異なる可能性のあるぱちんこ遊技機」の回収・撤去が8月末に行われ、遊技機の入れ替えが優先となったことにより、周辺設備の投資は先送りとなる傾向が続きました。また、年内までに更なる回収・撤去が予定されており、先行き不透明感からパチンコホールの周辺設備に対する投資意欲は大きく低迷し、買い控えが続いております。

このような状況の中、開発型企業グループである当社グループは、開発、製造、販売、アフターサービスに至る一貫体制で、製造原価の低減や多様化する顧客ニーズに適した製品を販売するとともに、充実したアフターサービス体制で付加価値の向上に努め、他社との差別化を図りながら提案販売を行ってまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高117億32百万円（前年同四半期比7.1%減）、営業利益19億43百万円（同17.8%減）、経常利益21億18百万円（同19.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益14億18百万円（同20.6%減）となりました。

セグメントの実績は次のとおりであります。

[アミューズメント関連事業]

パチンコホールを取り巻く経営環境が厳しい状況の中で当社グループは、少人数で効率的なホール経営を実現する「パーソナルPCシステム（以下、「パーソナル」という。）」の拡販に努めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間におけるパーソナルの売上実績は24店舗、当第2四半期連結累計期間末時点における導入（実稼働）店舗数は累計1,571店舗（市場シェア17.6%）となりました。また、パーソナルを含めたプリペイドカードシステムの売上実績は25店舗、導入（実稼働）店舗数は累計2,037店舗（市場シェア22.8%）となりました。

空気力で紙幣を搬送する「Air紙幣搬送システムHayate（疾風）」及び「立体Air紙幣搬送システム」は、確かな技術とメンテナンスフリーなパフォーマンスが市場から高く評価され、導入が進みました。

9月に全国主要都市で開催したセミナーでは、当社製品の導入事例や活用方法を紹介し、新しいニーズの掘り起こしを行いました。また、新たにリリースした「総合管理システムV2」や「モバイルサービス」、平成28年4月1日付で当社子会社となったコア株式会社製の「紙幣整理機」を展示し、販売活動を行ってまいりました。

この結果、アミューズメント関連事業の売上高は、81億53百万円（前年同四半期比14.3%減）、セグメント利益は17億86百万円（同19.7%減）となりました。

[自動認識システム関連事業]

RFIDやバーコード等を活用した自動認識システムは、業種を問わず様々なビジネスシーンで活用できるシステムであります。当社子会社の株式会社マーストークンソリューションが主体となり、FA市場、流通市場、アミューズメント市場、健診市場等、広く新規市場への展開を目指し提案販売活動を行っております。市況観、販売状況は依然厳しいものの、低迷していた国内製造業の設備投資は業界ごとに緩やかな回復基調にあり、新製品開発と新規顧客の獲得、前期に吸収合併したX線検査事業を含め、前年同期の売上実績を上回ることができました。

この結果、自動認識システム関連事業の売上高は28億12百万円（前年同四半期比16.3%増）、セグメント利益は2億53百万円（同5.2%減）となりました。

[ホテル関連事業]

ホテル業界におきましては、平成27年に日本を訪れた外国人が推計1,973万人（日本政府観光局の発表）で過去最高を更新しており、観光需要は好調に推移しました。

福岡市博多区のホテルサンルート博多は、JR博多駅に程近い立地と質の高いサービスが評価され、地域の中でも高い稼働率を維持することができました。静岡県御殿場市のマースガーデンウッド御殿場は、本年4月に噴水施設を新設し、新イベント「水と光のファンタジー（幻想的な噴水ショー）」を実施しました結果、新規顧客とリピーターが増加し稼働率は向上しました。関連事業の「海鮮処博多松月亭（ホテルサンルート博多内）」及び「鉄板焼銀明翠GINZA（東京銀座）」は認知度も高まり、順調に利用者数が増加しました。また、インターネットによる関連商品の販売が好調に推移しました。

この結果、ホテル関連事業の売上高は7億66百万円（前年同四半期比9.1%増）、セグメント損失は1億円（前年同四半期は1億31百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

当第2四半期連結会計期間末の総資産は570億70百万円となり、前連結会計年度末と比較して7億81百万円減少いたしました。

流動資産は339億70百万円となり、前連結会計年度末と比較して8億72百万円減少いたしました。その減少の主な内訳は、受取手形及び売掛金が18億51百万円減少し39億19百万円となりました。

固定資産は231億円となり、前連結会計年度末と比較して91百万円増加いたしました。その増加の主な内訳は、投資有価証券が1億80百万円増加し75億59百万円となりました。

流動負債は51億78百万円となり、前連結会計年度末と比較して11億30百万円減少いたしました。その減少の主な内訳は、支払手形及び買掛金が6億13百万円減少し21億22百万円、未払法人税等が4億1百万円減少し5億2百万円となりました。

固定負債は35億25百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億62百万円減少いたしました。その減少の主な内訳は、リース債務が2億69百万円減少し10億28百万円となりました。

純資産は483億66百万円となり、前連結会計年度末と比較して6億10百万円増加いたしました。その増加の主な内訳は、利益剰余金が9億17百万円増加し452億30百万円となりました。

自己資本比率は84.7%となり、前連結会計年度末と比較して2.2ポイント増加いたしました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は205億3百万円となり、前連結会計年度末と比較して11億87百万円増加いたしました。

当第2四半期連結累計期間における「営業活動によるキャッシュ・フロー」は23億46百万円の収入(前年同四半期は32億7百万円の収入)となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益21億79百万円、売上債権の減少額18億51百万円等によるものです。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は6億30百万円の支出(前年同四半期は14億73百万円の支出)となりました。主な要因は、投資有価証券の取得による支出4億46百万円、子会社株式の取得による支出3億88百万円等によるものです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は5億13百万円の支出(前年同四半期は30億40百万円の支出)となりました。主な要因は、配当金の支払額5億円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の業績予想につきましては、平成28年9月30日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,759,206	19,952,554
受取手形及び売掛金	5,770,990	3,919,328
リース債権及びリース投資資産	1,858,051	1,544,608
有価証券	1,906,713	900,927
商品及び製品	1,988,835	2,245,422
仕掛品	325,402	421,453
原材料及び貯蔵品	1,107,010	1,058,923
その他	4,144,673	3,943,276
貸倒引当金	△17,489	△15,927
流動資産合計	34,843,394	33,970,567
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,179,808	7,004,021
土地	5,820,805	5,822,470
その他(純額)	515,431	438,289
有形固定資産合計	13,516,045	13,264,781
無形固定資産		
	167,285	153,669
投資その他の資産		
投資有価証券	7,378,662	7,559,496
その他	2,167,371	2,324,172
貸倒引当金	△220,693	△202,054
投資その他の資産合計	9,325,340	9,681,614
固定資産合計	23,008,670	23,100,064
資産合計	57,852,065	57,070,631
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,735,868	2,122,777
リース債務	1,121,513	981,673
未払法人税等	904,440	502,525
賞与引当金	455,892	456,459
その他	1,090,871	1,114,813
流動負債合計	6,308,585	5,178,249
固定負債		
リース債務	1,297,540	1,028,101
役員退職慰労引当金	683,785	699,685
退職給付に係る負債	560,722	570,313
資産除去債務	28,667	28,944
その他	1,217,128	1,198,728
固定負債合計	3,787,844	3,525,774
負債合計	10,096,430	8,704,024

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,934,100	7,934,100
資本剰余金	8,371,830	8,371,830
利益剰余金	44,313,155	45,230,480
自己株式	△12,302,132	△12,314,885
株主資本合計	48,316,953	49,221,524
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△176,240	△438,617
繰延ヘッジ損益	△29,714	△78,506
退職給付に係る調整累計額	△355,363	△337,792
その他の包括利益累計額合計	△561,317	△854,916
純資産合計	47,755,635	48,366,607
負債純資産合計	57,852,065	57,070,631

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	12,634,776	11,732,291
売上原価	6,147,001	5,724,719
売上総利益	6,487,774	6,007,572
販売費及び一般管理費	4,124,319	4,063,963
営業利益	2,363,454	1,943,608
営業外収益		
受取利息	2,614	115
受取配当金	206,553	172,771
その他	74,563	19,161
営業外収益合計	283,731	192,048
営業外費用		
為替差損	—	16,891
自己株式取得費用	10,281	52
営業外費用合計	10,281	16,943
経常利益	2,636,904	2,118,713
特別利益		
投資有価証券売却益	—	67,682
関係会社清算益	101,846	—
特別利益合計	101,846	67,682
特別損失		
減損損失	—	7,264
特別損失合計	—	7,264
税金等調整前四半期純利益	2,738,750	2,179,131
法人税、住民税及び事業税	887,646	749,580
法人税等調整額	63,936	11,020
法人税等合計	951,583	760,600
四半期純利益	1,787,167	1,418,530
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,787,167	1,418,530

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	1,787,167	1,418,530
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,018,362	△262,377
繰延ヘッジ損益	—	△48,792
退職給付に係る調整額	2,281	17,571
その他の包括利益合計	△1,016,080	△293,598
四半期包括利益	771,086	1,124,931
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	771,086	1,124,931

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,738,750	2,179,131
減価償却費	311,355	281,467
減損損失	—	7,264
引当金の増減額(△は減少)	13,338	△3,733
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	7,306	9,591
受取利息及び受取配当金	△209,167	△172,887
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△67,682
関係会社清算損益(△は益)	△101,846	—
売上債権の増減額(△は増加)	1,434,793	1,851,661
リース債権及びリース投資資産の増減額(△は増加)	203,081	354,197
たな卸資産の増減額(△は増加)	△445,567	△304,550
営業貸付金の増減額(△は増加)	323,030	67,400
仕入債務の増減額(△は減少)	△58,499	△613,090
リース債務の増減額(△は減少)	△267,799	△409,278
その他	438,044	165,354
小計	4,386,820	3,344,846
利息及び配当金の受取額	209,167	172,887
法人税等の支払額	△1,388,262	△1,171,583
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,207,726	2,346,149
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△86,769	△47,473
投資有価証券の取得による支出	△1,335,478	△446,602
投資有価証券の売却による収入	—	343,324
子会社株式の取得による支出	—	△388,000
関係会社の整理による収入	111,049	—
その他	△162,422	△91,481
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,473,621	△630,232
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△2,503,148	△12,805
配当金の支払額	△536,853	△500,834
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,040,001	△513,640
現金及び現金同等物に係る換算差額	307	△14,749
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,305,589	1,187,526
現金及び現金同等物の期首残高	22,217,684	19,315,885
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,912,094	20,503,412

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アミューズ メント 関連事業	自動認識 システム 関連事業	ホテル 関連事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	9,513,642	2,418,590	702,543	12,634,776	—	12,634,776
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	305,334	55,264	9,933	370,531	△370,531	—
計	9,818,976	2,473,854	712,476	13,005,307	△370,531	12,634,776
セグメント 利益又は損失 (△)	2,224,221	267,643	△131,484	2,360,380	3,074	2,363,454

(注) 1. セグメント利益の調整額3,074千円には、セグメント間取引消去3,074千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アミューズ メント 関連事業	自動認識 システム 関連事業	ホテル 関連事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	8,153,413	2,812,634	766,243	11,732,291	—	11,732,291
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	290,699	35,717	7,237	333,653	△333,653	—
計	8,444,112	2,848,351	773,481	12,065,945	△333,653	11,732,291
セグメント 利益又は損失 (△)	1,786,529	253,849	△100,615	1,939,763	3,845	1,943,608

(注) 1. セグメント利益の調整額3,845千円には、セグメント間取引消去3,845千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。